

## ～ツキノワグマ出没警報・出没注意報 発出中～ 令和6年度堅果類豊凶調査結果及び今秋のクマの里地への 出没予想をお知らせします

県では毎年、ツキノワグマによる人身被害防止のため、クマの秋期の主な餌となる堅果（どんぐり）類の豊凶が秋の里地への出没に大きく影響することから、堅果類豊凶調査を実施し、クマの出没予想を行っています。今年度の調査結果及び出没予想がまとまりましたので、お知らせします。

今年度の堅果類の結実量は、県内全域で一定程度の結実が見込まれ、クマの里地への大量出没の可能性は低いと考えられますが、現在まで多くの出没が続いていますので、クマと遭遇しないよう引き続き十分に注意をお願いします。

### 堅果類豊凶調査の総評

堅果類の樹種を問わず、昨年と比べ着果状況がよく、豊作の箇所もあり、県内全域で一定程度の結実量が見込まれます。詳細については別紙をご確認ください。

#### 令和6年 秋冬

堅果類の依存度が高い県北部（北アルプス、長野、北信）では、着果状況が良好なため、H18、H22、H26のような、大量出没とはなりにくいと考えられます。また、その他の地域でも、一定の結実が確保されており、大量出没とはなりにくいと考えられます。

ただし、着果状況の乏しい地域もあるので、引き続き出没への注意が必要です。

#### 令和7年 春夏

堅果類の結実が良好なため、出産数が増え、来春の子連れクマの出没が多くなると予想されますので、十分注意してください。

### 県民の皆様へのお願い

佐久・上伊那・木曾・北アルプス・北信地域に

**ツキノワグマ出没警報**発出中です。（10月14日（月）まで）

上田、諏訪、南信州、松本、長野地域に

**ツキノワグマ出没注意報**発出中です。（11月14日（木）まで）

- クマは広範囲を移動するため、県内の森林のどこにでも出没し、人と遭遇する可能性があります。
- **一番重要なことは「クマに出会わない」**ことです。森林やその周辺で行動する時は、**複数人で行動したり、クマ避け鈴やラジオ等の音を鳴らしながら行動する**など、人の存在を知らせることで、クマとの遭遇リスクを下げることができます。
- **朝夕の薄暗い時間帯や見通しの悪い藪がある場所**では、不意の遭遇に注意してください。
- 人里での餌を覚えたクマは出没を繰り返します。**カキやクリなど収穫しない果実や廃棄する農作物、生ゴミ、油脂類等は適切に処理**して、人里にクマを誘引しないことが大切です。
- クマは背を向けて走って逃げるものを追いかける習性があります。万が一遭遇してしまったときは、**クマから目を離さず、ゆっくりとその場を離れてください。**

※長野県 HP「ツキノワグマ対策について ～県民の皆様・長野県へ訪れる皆様へ～」を御参照ください。

[https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/kensei/soshiki/soshiki/kencho/yasechoju/kuma\\_alert.html](https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/kensei/soshiki/soshiki/kencho/yasechoju/kuma_alert.html)

確かな暮らしを守り、  
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0  
～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～

[長野県総合5か年計画推進中]

(問合せ先)  
担当 林務部森林づくり推進課  
鳥獣対策係 田淵、福澤  
電話 (直通) 026-235-7273  
(代表) 026-232-0111 (内線) 3265  
FAX 026-234-0330  
電子メール choju@pref.nagano.lg.jp

(別紙)

## 令和6年度堅果類豊凶調査の結果（長野県）

### 【樹種別】

| 樹種       | 豊凶の状況                        |                                  |
|----------|------------------------------|----------------------------------|
| ミズナラ、コナラ | 並作下；<br>不作～豊作<br>(R5：凶作～並作上) | ・全県的に並作以上となっており、一定の結実が期待できる。     |
| ブナ       | 並作；<br>不作～豊作<br>(R5：大凶作～並作下) | ・中南信では結実が少ないが、北信では結実があり、大豊作木もある。 |
| クリ、クヌギ等  | 並作；<br>凶作～大豊作<br>(R5：不作～大豊作) | ・単木ごとにバラツキがあるが、全県で安定して結実している。    |

### 【地方別】

| 地方（地域）          | 判定  | 豊凶の状況   |
|-----------------|-----|---|
| 東信<br>(佐久、上田)   | 並作  | ・一部で不作があるが、一定の結実が見られ、昨年と比べ良好である。                                      |
| 南信（諏訪、上伊那、南信州）  | 並作下 | ・一定の結実が見られ、昨年と同程度である。   |
| 中信（木曾、松本、北アルプス） | 並作  | ・松本と北アルプス地域は並作以上となっており、昨年と比べ良好である。<br>・木曾は結実しているもの、クリ以外は不作のため昨年より少ない。 |
| 北信<br>(長野、北信)   | 並作下 | ・堅果類は並作以上となり、大豊作木も見られる。   |
| 全県              | 並作  | ・昨年度と比較すると着果状況が良く、一定程度の結実が見られる。                                       |

### ※堅果類豊凶調査の実施方法

対象樹種：ミズナラ、コナラ、ブナ、クヌギ、クリ、クルミ

調査方法：①県内各地（令和6年度：84地点、約1,200本）で目視により樹冠全体及び枝の着果状況を確認

②着果状況に応じて樹木ごとに着果度ランクを決定

0：着果無し 1：樹冠一部疎に着果 2：樹冠一部密に着果

3：樹冠全体疎に着果又は樹冠半分に密に着果 4：樹冠全体密に着果

③地点樹種ごとに着果度ランクの平均値を出し、豊凶を判定

| 着果度ランク平均値   | 豊凶判定 | 着果度ランク平均値   | 豊凶判定 |
|-------------|------|-------------|------|
| 0           | 大凶作  | 1.5以上～2.0未満 | 並作   |
| ～0.3未満      | 凶作   | 2.0以上～2.5未満 | 並作上  |
| 0.3以上～1.0未満 | 不作   | 2.5以上～3.5未満 | 豊作   |
| 1.0以上～1.5未満 | 並作下  | 3.5～        | 大豊作  |

④判定結果を林業総合センター、環境保全研究所の研究員が総合的に評価、クマの出没を予測